

2022年 運営委員会 活動レポート (PTA 会員研修会)

10月13日(木)、大阪大学工学部を訪問する「PTA 会員研修会」を開催し、約90人の皆様にご参加いただきました。

研修会を担当した運営委員会では、委員それぞれが役割を分担し、準備から当日運営まで行いました。

運営の様子を写真でご紹介します。



受付

各学年2人がペアを組んで、
受付を行いました



司会・進行役

全体司会や、膳所高校を卒業された
大学生との交流会の進行役も、運営
委員で務めました



キャンパス散策

工学部の研究室や実験施設等を、教授や膳所高校卒業生が案内してくださいました
運営委員は、班ごとに色を変えた旗を持ってサポートしました

学生のみなさんから膳所高校生へのメッセージ

第2部の交流会へ登壇いただいた大阪大学の学生（膳所高校卒業生）の皆さまより、膳所高校生へメッセージをいただきました

受験生に限らず勉強していると、ふと周りの友達と比べてしまったり思うように学力が上がらなかつたりして、思い悩むことがあると思います。

そんなときでも、真剣に取り組んでいれば実力は必ず伸びているので、とにかく足を止めないことが大切です。

僕と同じ数学が苦手な理系の方は、覚悟を決めて向き合しましょう。

大学に入ってから数学は必要で、僕は苦しんでいるので、僕と同じ轍を踏まないよう今のうちに頑張ってください。

コロナのせいで相変わらず制限の多い高校生活は続くかもしれませんが、できるだけ多くの経験を積んでおくと思います。特に膳所高校には他の高校にはないプロジェクトもたくさんあるので、迷ったら全部参加するくらいの気持ちでいいです。忙しいのは案外何とかなるし、近い将来高校時代の経験が思わぬところで役に経つはずですよ！

学部や学科の名前だけで判断せず、ホームページなどでどのような研究室があるのか見ておくのと入学してからのギャップは防げるかだと思います。行きたい研究室を見つけるというよりは、気になる技術や分野に関わりそうな研究室が多いかもしれないと感じる学部・学科を見つけられるといいと思います。受験に関しては基礎知識の充実がやはり重要かだと思います。阪大の二次試験では完全解答を目指すよりも、自分がどこまでわかっているかという知識を使おうとしているのかを記述でアピールすることを目標に勉強していました。

膳所高校のできるだけレベルの高い大学を目指そうという風潮にはとっぴか乗っかっておくのがいいと思います。出願の時にどの大学にするのかをよく考えて決めたいと思いますし、勉強しておけば大学の選択肢が広がります。

もしいきなり大学があるけど学力が足りないという場合は浪人するのもありだと思います。1年間本気で勉強する経験なんてこれから先できないので、とてもいい経験になると思います。駿台に行けば膳所高校生だらけで高校みたいな感じです。

今日の私達の話が、将来のことを考えるヒントに少しでもなればとても嬉しいです。進路のことを考えると様々なことに思い悩んでしまうと思いますが、高校生活は一瞬で過ぎ去ってしまうので、ぜひ後悔のないように全力で楽しんでください！

受験生のときは大学の名前や偏差値を気にしがちですが、大学に入って自分が何をやりたいのか、何を学びたいのかをしっかりと考えてほしいです。大学合格を目標にしすぎたり、なんとなくで学部選択をしてしまうと、入学してからやりたいことを見つけることができず、貴重な大学4年間を単位を取ることを考えていたらと過ごしてしまう、ということになりかねません。自分がどんな大学生活を送りたいのか、そして将来どんなことをしたいのかをしっかりと自分自身で考えながら進路選択をしてほしいと思います。



集合写真（3年生保護者）
学年ごとに集合写真を撮影しました
校長先生はじめ先生方もご参加ください
ました



集合写真（2年生保護者）



集合写真（1年生保護者）

2年ぶりのリアル研修に、参加された会員の皆さんも楽しんでいただけたようで、無事終わり、運営委員一同ほっとしました。
研修を受け入れて下さった大阪大学工学部様、お世話になり、ありがとうございました。